

Rotary

ロータリーは
機会の扉を開く

2020-2021年度

会長 青山 圭一

幹事 西村 敏信

出席報告

本日出席	16人
欠席	11人
出席率	66.66%
第3250回のメイクアップ	2人
第3250回の出席率	75.00%→91.66%

会長あいさつ

青山圭一会長



だんだん春らしくなってきました。コロナのワクチン接種は、予診票が順次皆さんのお手元に届くはずだ。心待ちにされていると思うが、供給量次第となるだろう。

ガバナー補佐あいさつ



大橋聡司様

コロナの中だが、対策をしっかりと上でのリアルの対面が大事だと思っている。IMも従来の形では難しいだろうが、会長幹事の交流会など何らかの形で実施したい。会員の維持・拡大が大きな課題になっている。拡大の余地はまだあると思うので、努めていただきたい。

Happy Birthday



稲盛夫人

何歳になるのかは忘れた。でも、毎日仲良くしており、おかげで世の中平和です。



岩崎正人君

47歳になる。上の子がきのう、志望していた高校に合格した。良い誕生祝いになった。

ニコボックス報告

稲盛仙三君	あじさいが綺麗に育ちますように
岩崎正人君	誕生祝い
稲盛仙三君	夫人誕生祝い
大橋聡司様	ガバナー補佐

卓話 オイスカの活動に参加して



荒木志郎君

卓話は荒木志郎君が担当し、公益社団法人オイスカの活動を紹介した。県支部の事務局長を務めた経験を基に、アジア・太平洋諸国など36の国と地域で開発協力や人材育成、「子供の森」計画などを進めていることを説明した。

オイスカの歴史は60年になる。海外開発協力は農業技術の普及を中心に、その地域にふさわしい方法で行っている。子どもたち自身に苗木を植えてもらう「子供の森」は、環境保全の大切さを教えている。東日本大震災の復興支援にも取り組み、海岸林再生プロジェクトは地元の人を巻き込み、雇用を生み出している。

北陸電力は1968年から法人会員として参画している。緑の植林協力隊に2回参加し、フィジーとタイを訪れた。一般のツアーでは絶対に行けない場所に行け、今までにない発見と体験ができる。草の根交流を通じての活動は、RCの奉仕の精神に通じるところが大いにある。

あじさい園整備活動

魚津総合公園のあじさい園の整備活動を18日に行い、会員18人が参加した。大村雅紹君の指導で色や見ごろの異なる5品種計60株を新たに植え、青山会長は「年々みずぼらしくなっていたが、これで再び立派なあじさい園になる」とあいさつした。「さつきの園」の手入れも行った。



出席報告

本日出席	14人
欠席	13人
出席率	58.33%
第3251回のメイクアップ	0人
第3251回の出席率	83.33%→83.33%

会長あいさつ

辻浩会長代理



コロナ禍の中、そろそろ夜遊びをしたいという誘惑があるが、理性を一生懸命働かせている。東北はマスクミが騒ぐ増えようで、ああいうふうになりたくない自分を戒めている。

Happy Birthday



坪井孝博君

1年前、50歳になった時に今年からRCに参加しようと決めた。この1年を振り返ると、自分ではまあまあ60点くらいかと思う。51歳に期待したいと思っている。

ニコボックス報告

南勇人様
坪井孝博君

よろしくお祈りします
誕生祝い

交換卓話

自己紹介



魚津西RC 会長エレクト 南 勇人様

魚津西ロータリークラブの西勇人会長エレクトが交換卓話を行い、産業廃棄物のリサイクルを手掛ける自社事業について紹介した。RC会長としての抱負については「仲良しクラブではなく、同じ目標に向かって皆でやっていけばいいと思っている」と述べ、魚津RCとの連携にも意欲を示した。

昭和45年生まれの50歳。魚津工業高校の3年間は甲子園を目指して野球をしていた。趣味はゴルフで、魚津西RCに入り、故吉田築夫さんに誘われたのがきっかけだった。ロータリー歴は7年で、子供の入学式で一緒になった佐々木祐司さんに口説かれた。

ミナミは紙のリサイクルから始まった会社。容器類はアルミ、スチール、ペットボトル、瓶の四つに分類してプレスなどをし、さまざまな用途に使われる。産廃も例えば木くずはセメント会社の発電用バイオマス燃料、壺はビニールハウスのボイラーの熱源になっている。

会長エレクト研修セミナーで、複数のクラブで奉仕デーをつくり、大々的にRCを宣伝しようと発破をかけられた。坪井さんとも相談しながらやっていきたい。

